

News Release

2020年12月17日
日立オートモティブシステムズ株式会社

車線維持支援機能など安全装備を充実させたスズキの「クロスビー」に 日立オートモティブシステムズのステレオカメラが採用

日立オートモティブシステムズ株式会社(プレジデント&CEO:ブリス・コッホ/以下、日立オートモティブシステムズ)のステレオカメラが、スズキ株式会社(代表取締役社長:鈴木 俊宏/以下、スズキ)により、車線維持支援機能や夜間歩行者検知などの安全装備の充実とともに10月に販売開始された小型乗用車「クロスビー」に採用されました。

近年、交通事故を防止する有効な対策として、自動車の安全設計における衝突被害軽減ブレーキの導入が加速しています。国内では、国土交通省が乗用車の衝突被害軽減ブレーキ装着義務化を世界に先駆けて発表し、2021年には国産の新型乗用車を対象に装着が義務化される予定となっています。このような衝突被害軽減ブレーキの装着に伴い、歩行者の検知・保護システムなどの先進安全機能の拡充とともに、自動車の安全性向上を背景とした消費者の新車に対する購入意欲も今後、高まることが予想されます。

今回、安全装備の充実が図られた「クロスビー」には、スズキとして初めて車線中央付近の走行維持をサポートする「車線維持支援機能*1」が採用されたほか、全車速追従機能付の「アダプティブクルーズコントロール*1」や、夜間の歩行者も検知する衝突被害軽減ブレーキの「デュアルカメラブレーキサポート*1」が採用されるなど、先進運転支援システム(Advanced Driver Assistance System: ADAS)の機能が拡充されています。これらの機能を支えるのが、夜間歩行者検知機能を有する当社のステレオカメラです。このカメラには、日立独自の機械学習技術を活用した、高精度な検知機能を実現するための画像による教師データが入力されており、夜間における歩行者の検知能力も高められています。

なお、今回の「クロスビー」は、経済産業省や国土交通省などが普及を推進する「サポカーSワイド」*2や国土交通省による「衝突被害軽減ブレーキ(AEBS)認定車」*3に該当しています。日立オートモティブシステムズは、このような安全運転サポート車を高度なADAS技術で支援していくとともに、ドライバーによる歩行者や自転車の巻き込みなどの交通事故の防止に今後も貢献していきます。

*1 クロスビー HYBRID MZ、HYBRID MVに標準装備。

*2 衝突被害軽減(自動)ブレーキなどの先進安全技術をはじめとする一定の運転支援機能を備えた車(安全運転サポート車。略称・サポカー)のうち、ペダル踏み間違い時加速抑制装置などを搭載することで特に高齢運転者に推奨される「サポカーS」の区分のひとつ。「サポカーSワイド」は、衝突被害軽減(自動)ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載する車。

*3 安全運転サポート車の普及啓発の一環として、走行中または停止中の車両に対する乗用車の衝突被害軽減(自動)ブレーキが一定の性能を有していることを国土交通省に認定された車



当社のステレオカメラが搭載された「クロスビー」
(写真は「HYBRID MZ」)



夜間の歩行者検知機能を有したステレオカメラ

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
